



集落で行う農業用施設機能の維持・増進を図る取組

山間農業地域

資源向上取組地区

キーワード

の農業
機能用
増進設
進設

のせちょうひがしちいきのうち・みずかんきょうほぜんそしき(おおさかふとよのぐんのせちょう)

能勢町東地域農地・水環境保全組織（大阪府豊能郡能勢町）

- 能勢町東地域にある18集落により広域組織を発足し、本交付金による活動を行ってきた。
- ほ場整備事業が完了して30年以上が経過し、農業用施設が老朽化してきたことに加えて、近年の豪雨による補修作業の増加が課題となっている。
- 各集落で農業用施設の草刈りや簡易な補修などの活動を実施し、施設機能の維持を進めてきた。また、令和元年度からは資源向上（施設の長寿命化）にも取り組み、施設の老朽化対策を進めている。

【地区概要】※R3年度時点

- ・認定農用地面積254ha
(田253ha畠1ha)
- ・資源量 水路132.4km
農道28.4km
ため池30箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会
土地改良区 等
- ・交付金 約12.0百万円（R2）
農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化）

活動開始前の状況や課題

- 施設の老朽化に伴う維持管理作業の増加



- 豪雨による施設の補修作業の増加



取組内容

- 施設の維持活動を集落ごとで実施。



(ため池清掃・泥上げの様子)

- 老朽化した水路を改修し、機能回復を図る。



(施工前)

(施工後)

取組の効果

- 施設の維持活動により、修繕が必要な施設の発見、補修作業が容易になり、農業生産効率の向上も期待できる。
- 地域住民（非農家等）の参加により、農地等の有する機能・保全に対する意識が深まるとともに、農村コミュニティーの形成に効果が見られた。
- これらの活動により、農作業の負担軽減が進むとともに、担い手への農地利用集積が期待される。



(景観形成作物（れんげ）)